

Stylist

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.



埋め込みボックス用手動巻き上げタイプ(SSC) 取り扱いおよび設置説明書

このたびはスタイルリストスクリーンをお買いあげいただきまして、まことに
ありがとうございます。

お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの
「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

安全上のご注意

- ◆ 下記のマークのある注意事項および、指示内容に関しては必ずお守りください。

必ずお読みください

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置のしかたを誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の表示で区分し、説明しています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表しています。

🚫 禁止

この表示の欄は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。



この表示の欄は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



この表示の欄は、必ず実行していただきたい「厳守」の内容を表しています。

取り扱い上の不備または天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

目 次

安全上のご注意	1
付属品の確認	1
各部の名称・仕様および寸法図	2 ~ 4
スクリーンの取り付け方法	5 ~ 6
スクリーン本体を取りはずす方法	7
スクリーンのテンションを調整する方法	8
引き下げ棒ホルダーの取り付け方法	
スクリーンの使い方	9
スクリーン面の取り扱い方法	10

◆付属品の確認

本機には、スクリーン本体の他に下記の付属品が同梱されています。取り付けの前に内容、必要個数が入っているか確認をしてください。

- A. スクリーン本体 ······ 1台



- B. セッティングブラケット ······ 2個

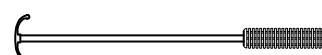


- C. セッティングブラケット用

トラスタッピングビス ······ 4本
(M4 × 50mm)



- D. 引き下げ棒(プルバー) ······ 1本



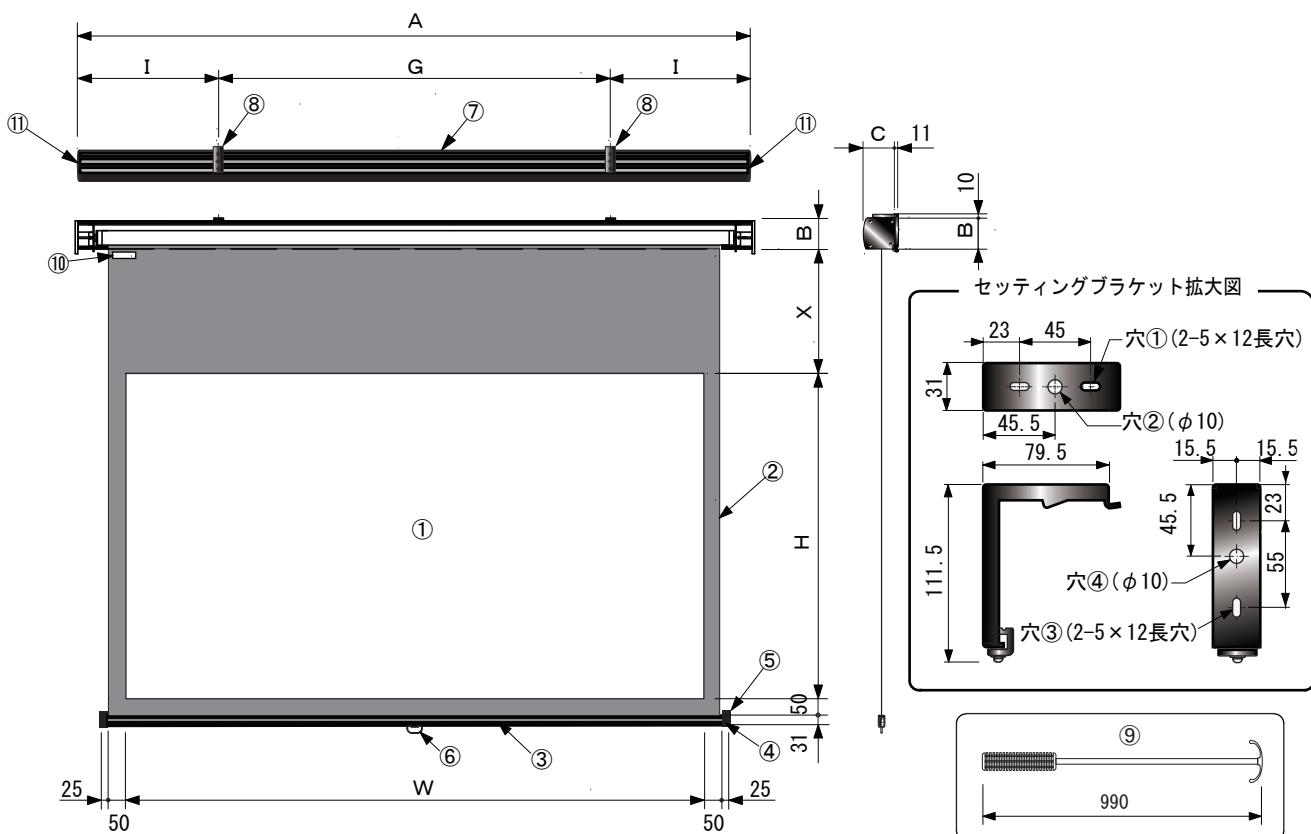
- E. 引き下げ棒ホルダー ······ 1個



上記付属品以外での取り付けはおやめください。取り付けなどの不備による脱落の恐れがあります。

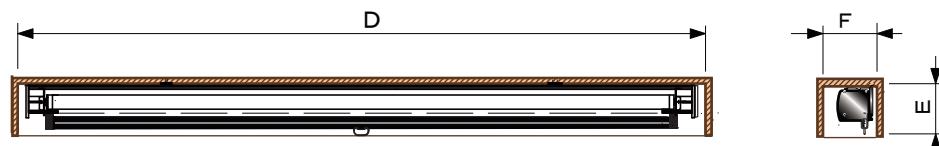
- F. 取り扱いおよび設置説明書 ······ 1冊

各部の名称・仕様および寸法図



名 称	①スクリーン ②マスク ③ボトムバー	④ボトムキャップ ⑤ボトムキャップクッション ⑥プルリング	⑦リアケース ⑧セッティングブラケット	⑩ストップマークシール ⑪ケースカバー

天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)



(寸法 : mm)

天井埋め込みBOX内寸						
ハイビジョンタイプ			NTSCタイプ		WXGAタイプ	
D	E	F	D	E	F	
80HDW	2300 × 141 × 126		80W	2200 × 141 × 126	80WXW	2300 × 141 × 126
100HDW	2700 × 141 × 126		100W	2600 × 141 × 126	100WXW	2700 × 141 × 126
120HDW	3200 × 141 × 126		120W	3000 × 141 × 126	120WXW	3200 × 141 × 126



天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付けする場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141mm(高さ) × 126mm(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けすることはできません。
(取り付け方法の詳細については5ページをご参照ください。)

スクリーン規格一覧表

N T S C タイプ (4 : 3)

(寸法 : mm)

型 番	スクリーンサイズ		上黒 X	ケース寸法 A × B × C	取り付け穴 推奨ピッチ G	I 寸法 各々	重量 (Kg)
	W	H					
SSC-80W	1626	1219	500	1915 × 95 × 96	1500	207.5	7.0
SSC-100W	2032	1524	500	2321 × 95 × 96	1900	210.5	9.4
SSC-120W	2438	1829	500	2727 × 95 × 96	2300	213.5	11.4

ハイビジョンタイプ (16 : 9)

型 番	スクリーンサイズ		上黒 X	ケース寸法 A × B × C	取り付け穴 推奨ピッチ G	I 寸法 各々	重量 (Kg)
	W	H					
SSC-80HDW	1771	996	500	2060 × 95 × 96	1500	280	7.5
SSC-100HDW	2214	1245	500	2503 × 95 × 96	1900	301.5	9.5
SSC-120HDW	2656	1494	500	2945 × 95 × 96	2300	322.5	12.2

WXGA タイプ (16 : 10)

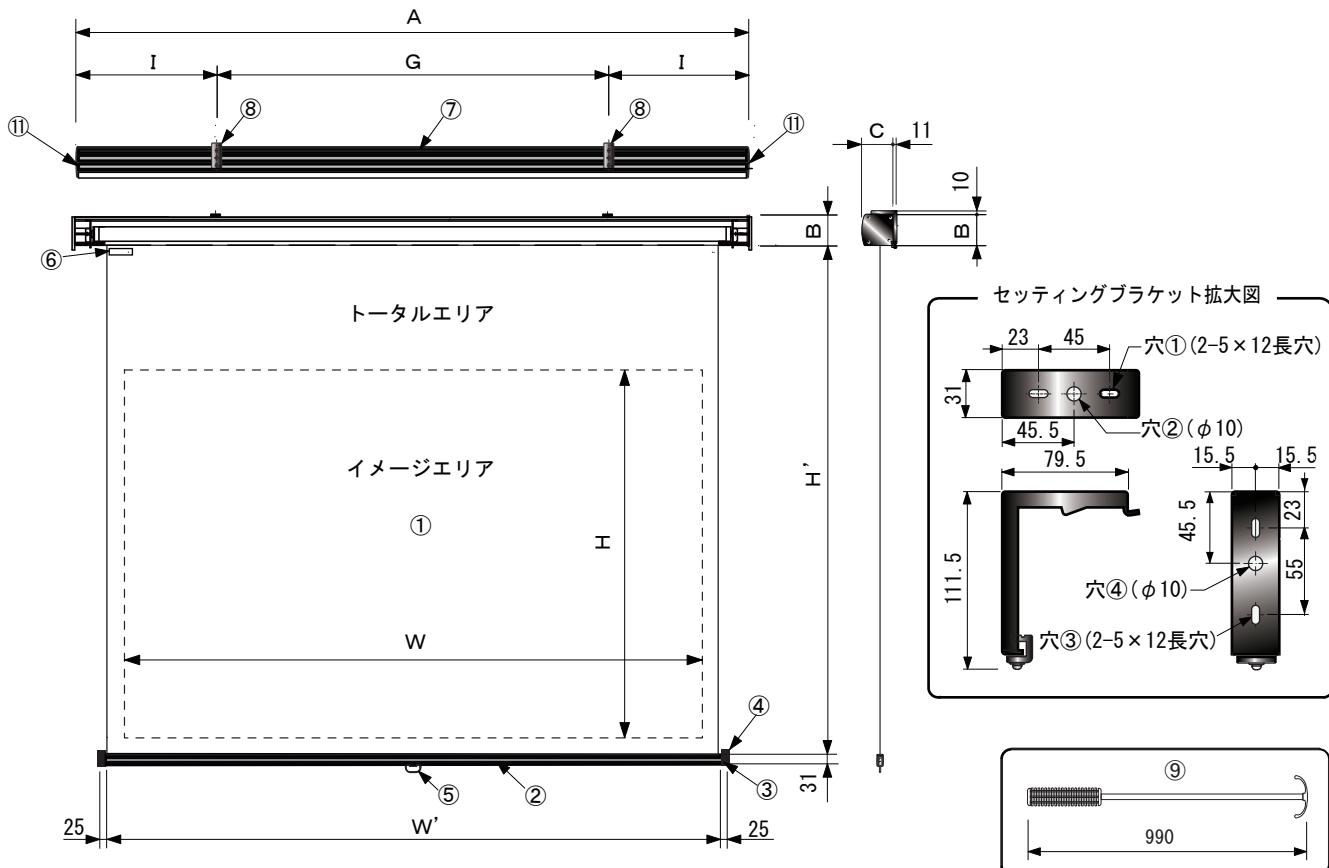
型 番	スクリーンサイズ		上黒 X	ケース寸法 A × B × C	取り付け穴 推奨ピッチ G	I 寸法 各々	重量 (Kg)
	W	H					
SSC-80WXW	1723	1077	500	2012 × 95 × 96	1500	256	7.5
SSC-100WXW	2154	1346	500	2443 × 95 × 96	1900	271.5	9.5
SSC-120WXW	2585	1615	500	2874 × 95 × 96	2300	287	12.2

※取り付け穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※ A Fアスペクトフリーサイズをお買い上げのお客様は下記の寸法を参考してください。

各部の名称・仕様および寸法図



名 称	①スクリーン	④ボトムキャップクッション	⑦リアケース	⑩
	②ボトムバー	⑤プルリング	⑧セッティングブラケット	⑪
	③ボトムキャップ	⑥ストップマークシール	⑨引き下げ棒(ブルバー)	ケースカバー

スクリーン規格一覧表

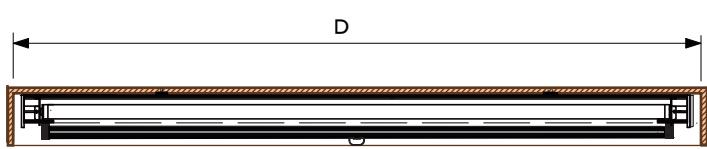
(寸法 : mm)

型番	イメージエリア W × H	トータルエリア W' × H'	ケース寸法 A × B × C	取り付け 推奨ピッチ G	I寸法 各々	重量 (kg)
SSC-80AFW	1771×1219	1871×1951	2060×95×96	1500	280	7.5
SSC-100AFW	2214×1524	2314×2226	2503×95×96	1900	301.5	9.5
SSC-120AFW	2656×1829	2756×2501	2945×95×96	2300	322.5	12.2

天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)

(寸法 : mm)

※天井埋め込みBOXはお客様側でご用意ください。



天井埋め込みBOX内寸		
D	E	F
80AFW	2300	141×126
100AFW	2700	141×126
120AFW	3200	141×126

! 天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付けする場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141mm(高さ)×126mm(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けすることはできません。
(取り付け方法の詳細については5ページをご参照ください。)

スクリーンの取り付け方法



警告

- ◆スクリーンを設置する壁や天井は、100kg以上支えられる強度が必要です。
- また石こうボードやパーチクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。
- 強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けすると脱落する恐れがあります。



- ◆天井取り付けに際し、下記の方法はおやめください。
 - ・ボードアンカーのみによる施工
 - ・ALCアンカーによる吊り下げ
 - ・天井裏Mバーへ直接荷重をかける施工

- ◆壁取り付けに際し、下記の方法はおやめください。
 - ・ボードアンカーのみによる施工
 - ・補強下地無しの施工

合板の天井または壁に設置する場合



注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

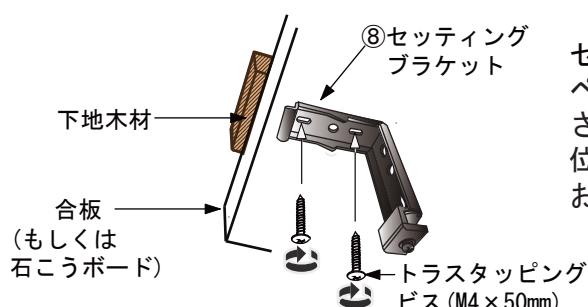
■取り付け場所の確認

本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですがあらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器^(※)などで確認してください。

(※) 推奨機器：パナソニック電工(株)「壁うらセンサー」など

1. 天井にセッティングブラケットを取り付けする場合

1-1 セッティングブラケット⑧をトラスタッピングビス(M4×50mm)で穴①を使って天井にプラスドライバーで取り付けしてください。



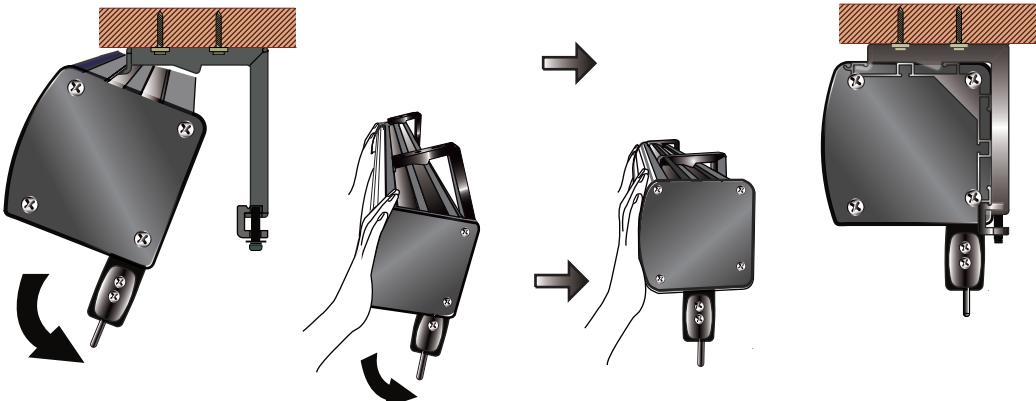
セッティングブラケット⑧の2ヶ所の間隔は3~4ページの「取り付け穴推奨ピッチG」を参照してください。また「I寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定するときの寸法値です。範囲内の数値におさまるようにして取り付けしてください。



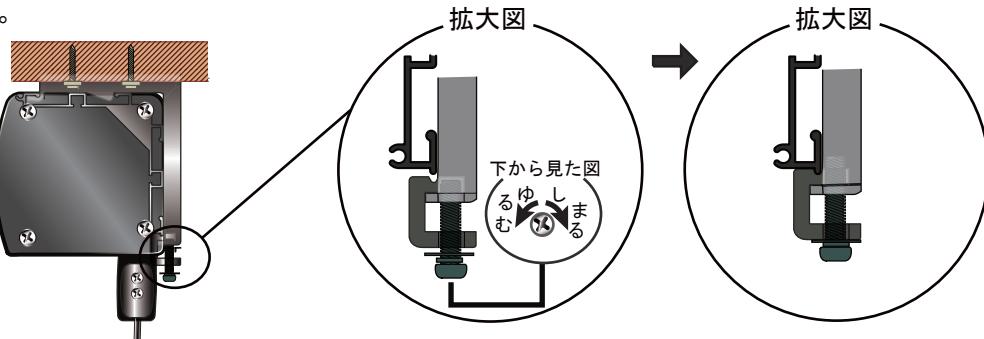
注意

セッティングブラケットは、スケールやレーザーpointerなどの道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。セッティングブラケットの平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

- 1-2 セッティングブラケット⑧の先端にリアケース⑦の天井面の前側の溝部を合わせ差し込んでください。完全に差し込みが完了したことを確認したらケース全体を後ろに「ガチャッ」と音がするまで押し込んでください。ブラケットストップバーを完全に固定した状態ではないので、スクリーン本体にガタツキがあります。



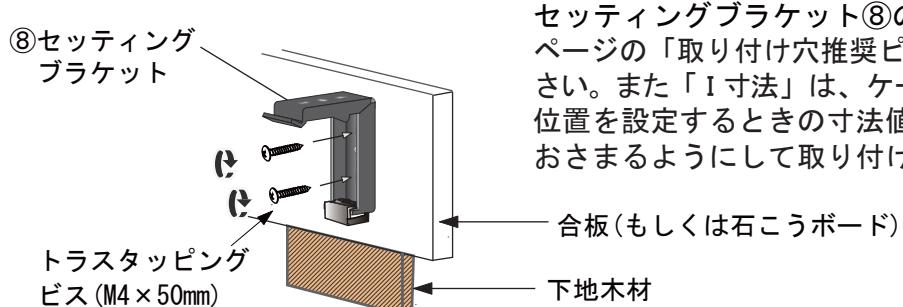
- 1-3 押し込みが完了したら軽くケースカバーを押し付けながらリアケース下面の突起とブラケットストップバーの溝部をしっかりと合わせ、ガタツキがなくなるまで固定用ネジで締め付けしてください。



- セッティングブラケットにスクリーン本体を取り付けするときには、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ケース溝部への差し込みやブラケットストップバーの締め付けは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害が発生する恐れがあります。

2. 壁にセッティングブラケットを取り付けする場合

- 2-1 セッティングブラケット⑧を付属のトラスタッピングビス(M4×50mm)で穴③を使って壁にプラスドライバーで取り付けしてください。



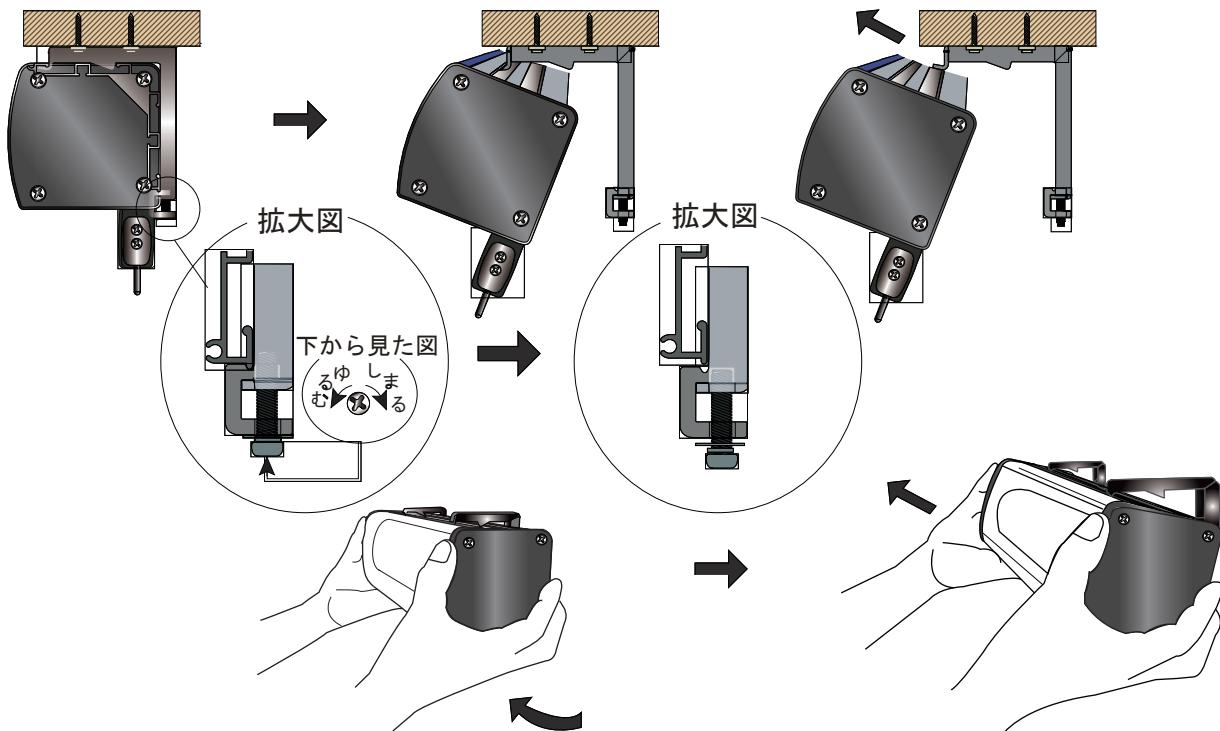
セッティングブラケット⑧の2ヶ所の間隔は3~4ページの「取り付け穴推奨ピッチG」を参照してください。また「I寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定するときの寸法値です。範囲内の数値におさまるようにして取り付けしてください。

- 2-2 1-2の手順で取り付けしてください。

- 2-3 1-3の手順でしっかりと締め付けしてください。

スクリーン本体を取りはずす方法

セッティングブラケット⑧の固定用ネジ(M4×20mm)をプラスドライバーでスクリーン本体が軽く前後にガタツクまでゆるめてください。ケースカバー⑪をしっかり握り、手前に引いてブラケットストップーからリアケース⑦の下面の突起をはずします。しっかりと持ったまま斜め上にスクリーン本体を引き上げてリアケース⑦の天井面の前側の溝部をセッティングブラケット⑧の先端から取りはずします。



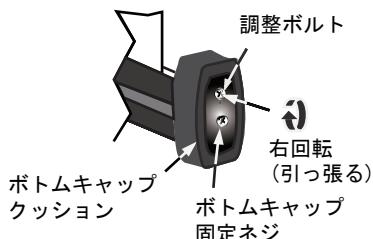
注意

- セッティングブラケットからスクリーン本体を取りはずすときには、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ブラケットストッパーからリアケース下面の突起がはずれたときに、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害や物的障害が発生する恐れがあります。

スクリーンのテンションを調整する方法

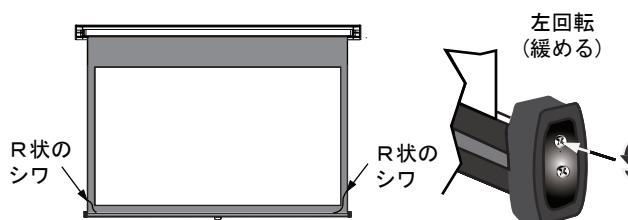
スクリーン面は、工場での出荷検査のときに平面調整(左右の調整ボルト共に約3回転)を完了しておりますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

1. 調整ボルトをプラスドライバーで右回転させて、スクリーンの下面にテンションをかけます。ボルトを1回転させると約0.5mm外側へスクリーンが引っ張られます。スクリーン下面のシワの状態を見ながら行ってください。この場合、最大0.5回転から1回転の間で調整を終わらせてください。これ以上回転させた場合2項のような症状になりますので、十分にスクリーンの状態を見ながら行ってください。



	調整ボルトを回転させるときは必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねる恐れがあります。
	調整ボルトの最大回転数は、出荷調整済の3回転を含めて左右共に4回転が限度です。

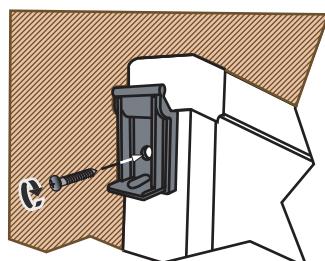
2. テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にR状のシワが発生する場合があります。この場合は、左回転させてR状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。



	<ul style="list-style-type: none">テンションをかけすぎたときは、調整ボルトを左回転させて一旦テンションを緩め2~3日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。シワの性質によっては、完全に取り切れない場合もありますのでご了承ください。
--	---

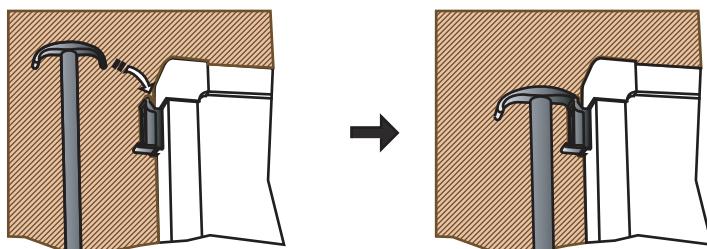
引き下げ棒ホルダーの取り付け方法

1. 引き下げ棒ホルダーを、壁または黒板などに付属の取り付け用ビス(M4×15mm)を使って取り付けしてください。



2. 引き下げ棒をご使用にならない場合は引き下げ棒ホルダーにかけておいてください。

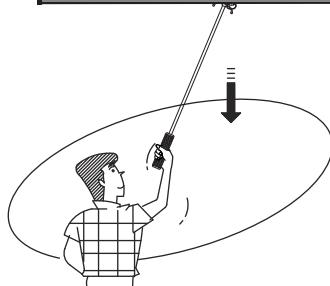
◆ 使用例



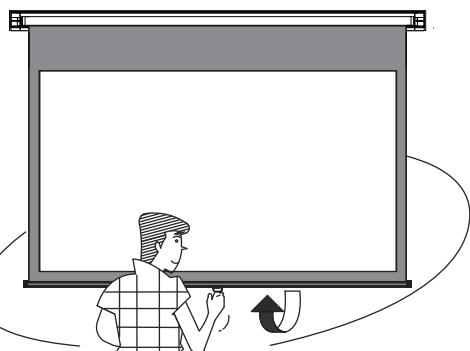
スクリーンの使い方

◆引き出すとき

- 付属の引き下げ棒を、スクリーンのプルリングにひっかけ、引き出してください。



- スクリーンの引き出しは、必ずストップマークシールが見え始めるまでの範囲で使用してください。しっかりと手をそえ、スクリーンを軽く上に戻すようにさせロックがかかったことを確認してから手をはなしてください。



スクリーン上部マスク部に貼ってあるストップマークシール以上引き下げないでください。ストップマークシール以上引き下げた状態で長時間放置しますとスクリーンが脱落する恐れがあります。



巻き上がり時の上昇速度は、環境温度(室温および空調温度)によって変化しますが故障ではありません。



ロックは約6.5cm間隔で働きます。この間隔のピッチでスクリーンを止めることができます。

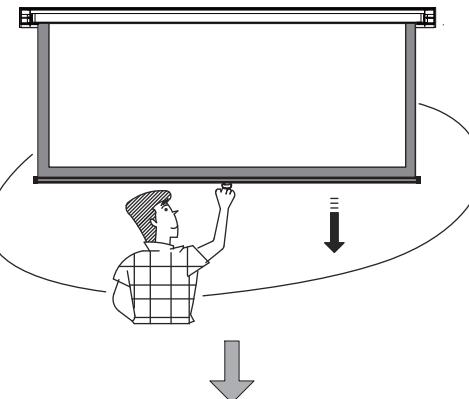


機構部の保護のため、連続して昇降させないでください。

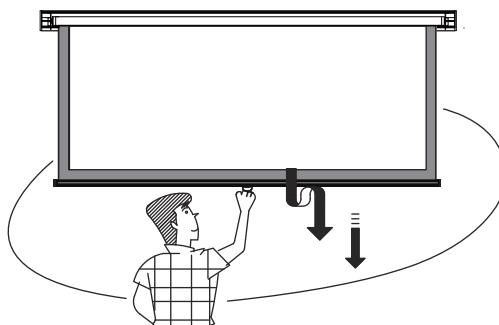
スクリーン面をきれいに保つため、ご使用のあとは必ずスクリーンをケースに巻き戻してください。
(その際、虫などが付着していないことを必ず確認してください。)

引き下げ棒は、必ずグリップ部分を握って使用してください。ひっかけ部を握ったり振り回したりすると、思わぬけがや破損の原因となります。

- 手が届く位置からはプルリングを持って引き下げてください。
(注)このときロックがかかった場合、2-1の動作を行ってください。

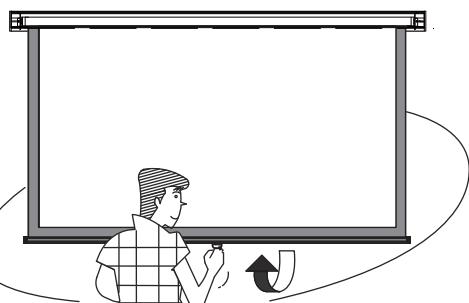


- 2-1. 手に持ち替えたときいったんロックがかかった場合、スクリーンを1~2cm下げロックを解除し少し巻き戻してから再度引き下げます。そのまま3の動作へ移ります。



◆収納するとき

- プルリングをしっかりと手で持ち、軽く引き下げ、ロックを解除させるとスクリーンは、巻き戻ります。



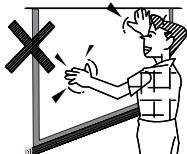


注意

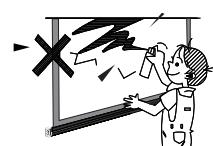
スクリーン面は反射性能を強化するために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

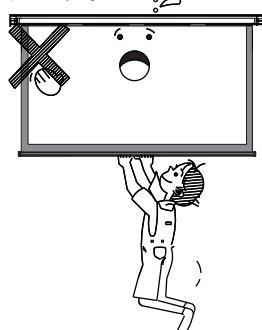
- スクリーン面に手をふれないでください。



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



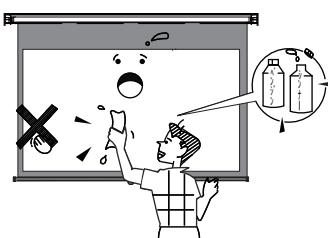
- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損の原因、落下してけがの原因となることがあります。



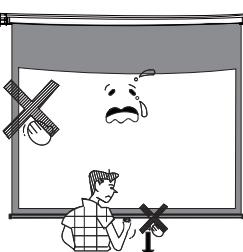
- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げ店にご相談ください。



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナーなどでスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質します。



- スクリーンを無理に引き出さないでください。スクリーンが脱落する恐れがあります。

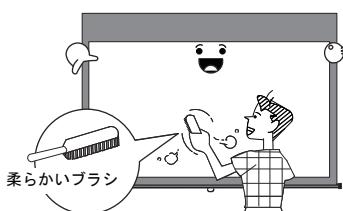


お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。また、高温の車中への放置もさけてください。



本 社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-5-2
TEL. 06-6567-9035(代) FAX. 06-6567-9036

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>

KIKUCHI SCIENCE LAB 2022.01 SSC RW